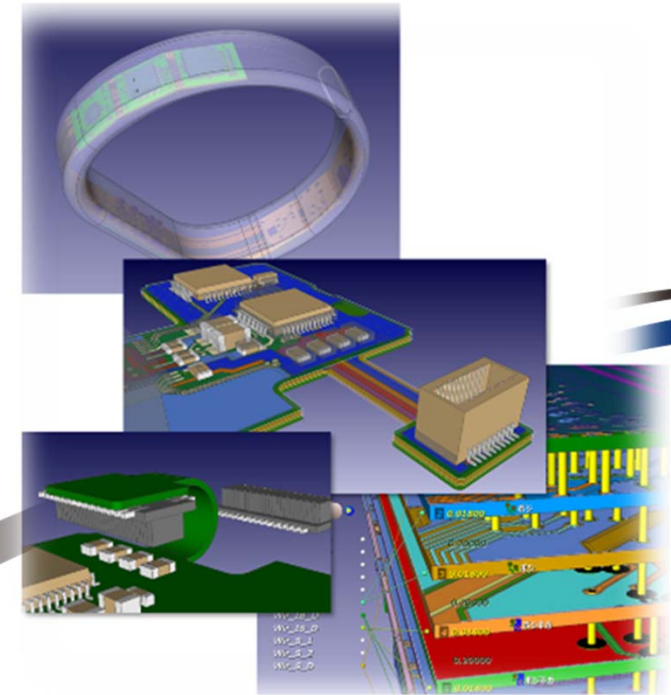


中期経営計画
(2022年 4月-2025年 3月)

進捗と今後の見通しについて

2023年 7月 21日



株式会社 図 研

東証プライム市場 証券コード 6947

3か年計画の進捗と今後の見通し (総括)

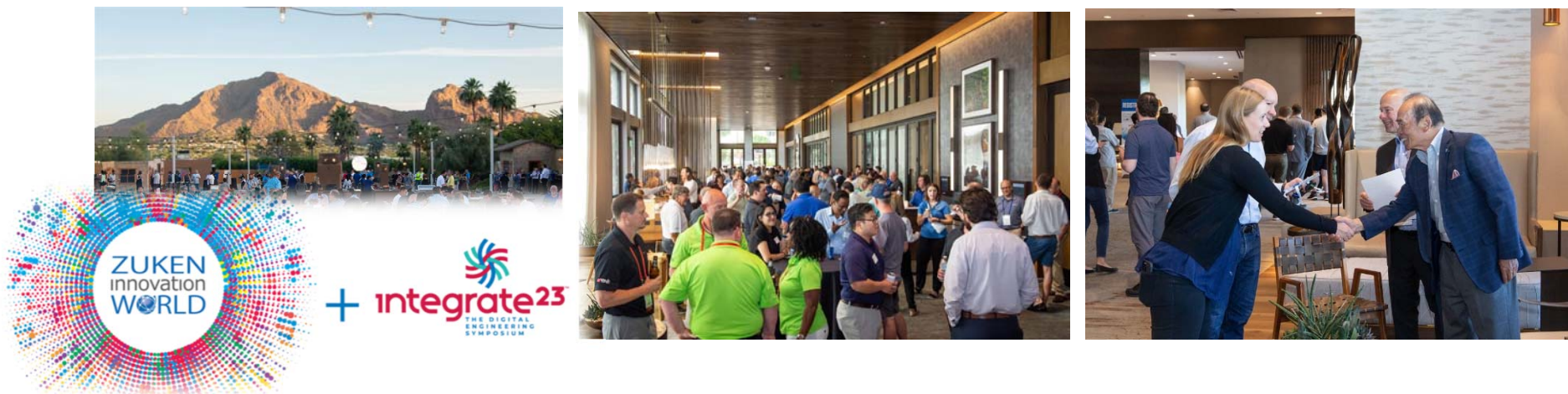


3か年計画1年目の進捗と今後の見通し・方針

- ① 売上、営業利益ともに2期連続で過去最高を更新
- ② 3か年計画の基本方針・数値目標は変更なし
- ③ 世界的なDX、スマートエンジニアリングへの需要を背景に、自動化、省エネルギー化を目的としたIT投資は今後も堅調を予測
- ④ 国内MBSEビジネスは順調に展開、
Zuken Vitech、図研での開発投資は継続
- ⑤ 3DIC（半導体チップ^o3次元積層）市場でのビジネスチャンス
獲得への取組み強化

トピックス

Zuken VitechとZuken USAが北米でのコーポレートイベントを共同開催 (2023年6月5日-8日 Scottsdale, AZ)

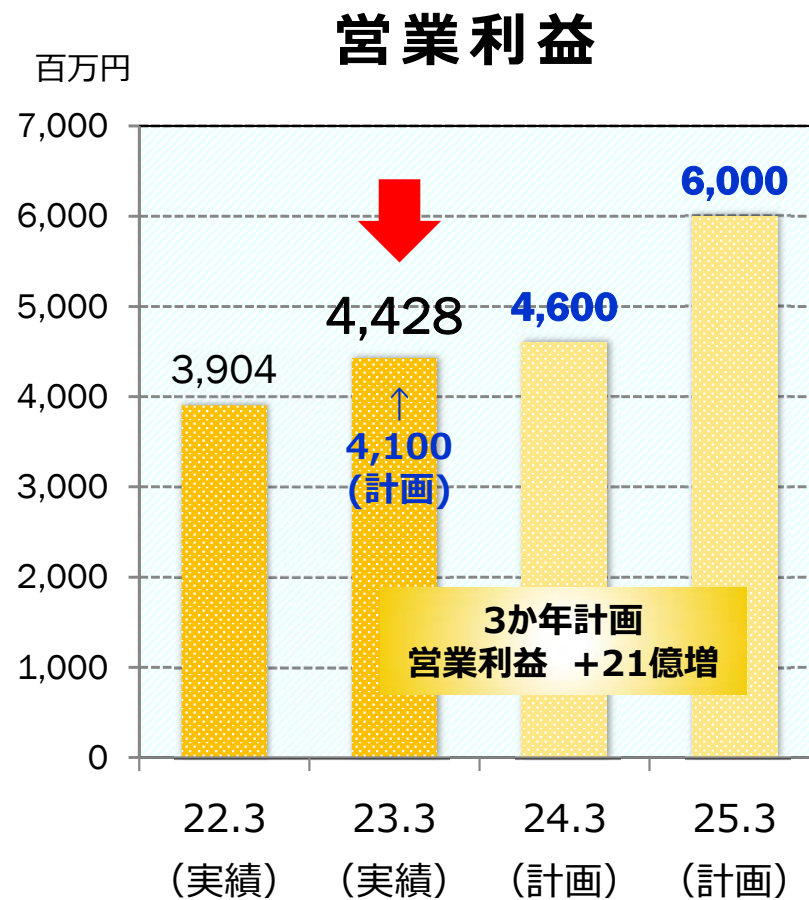
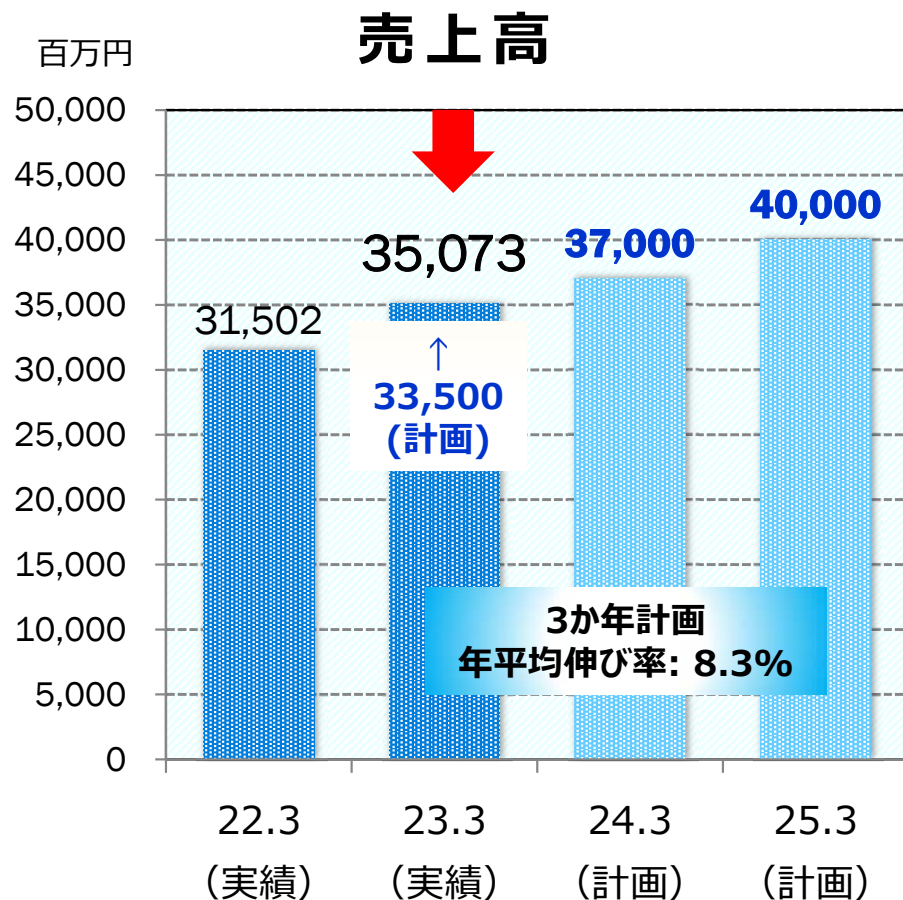


- アプライドマテリアルズ、ロッキードマーチン、ノースロップグラマン、サンディア国立研究所など両社の顧客が講演
- Zuken USA、Vitech双方の顧客が講演、ハンズオン、デザインコンペなどを通して交流
- 図研、Vitech開発メンバーが双方の市場・顧客動向をもとに GENESYSロードマップに関する打合せ実施

1年目業績の詳細・その他



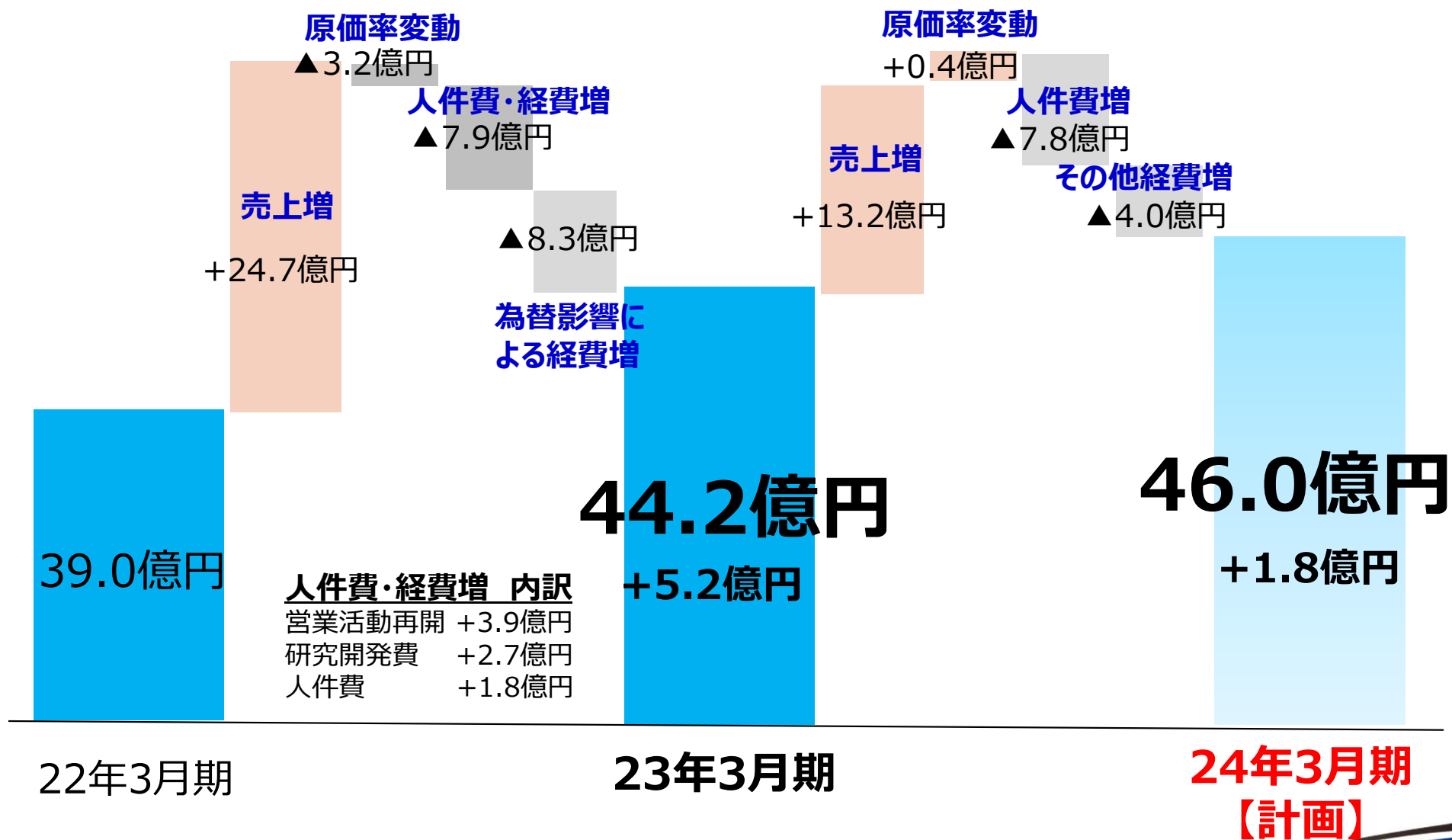
中期計画 年度別売上・営業利益目標



※ 23.3期累計期間の平均為替レート 1USDドル = 135円 1ユーロ = 141円
24.3期計画の前提為替レート 1USDドル = 130円 1ユーロ = 138円

**売上・営業利益とも過去最高を更新
為替影響を除けばほぼ計画通りの水準で、今期見通しは維持**

営業利益増減要因

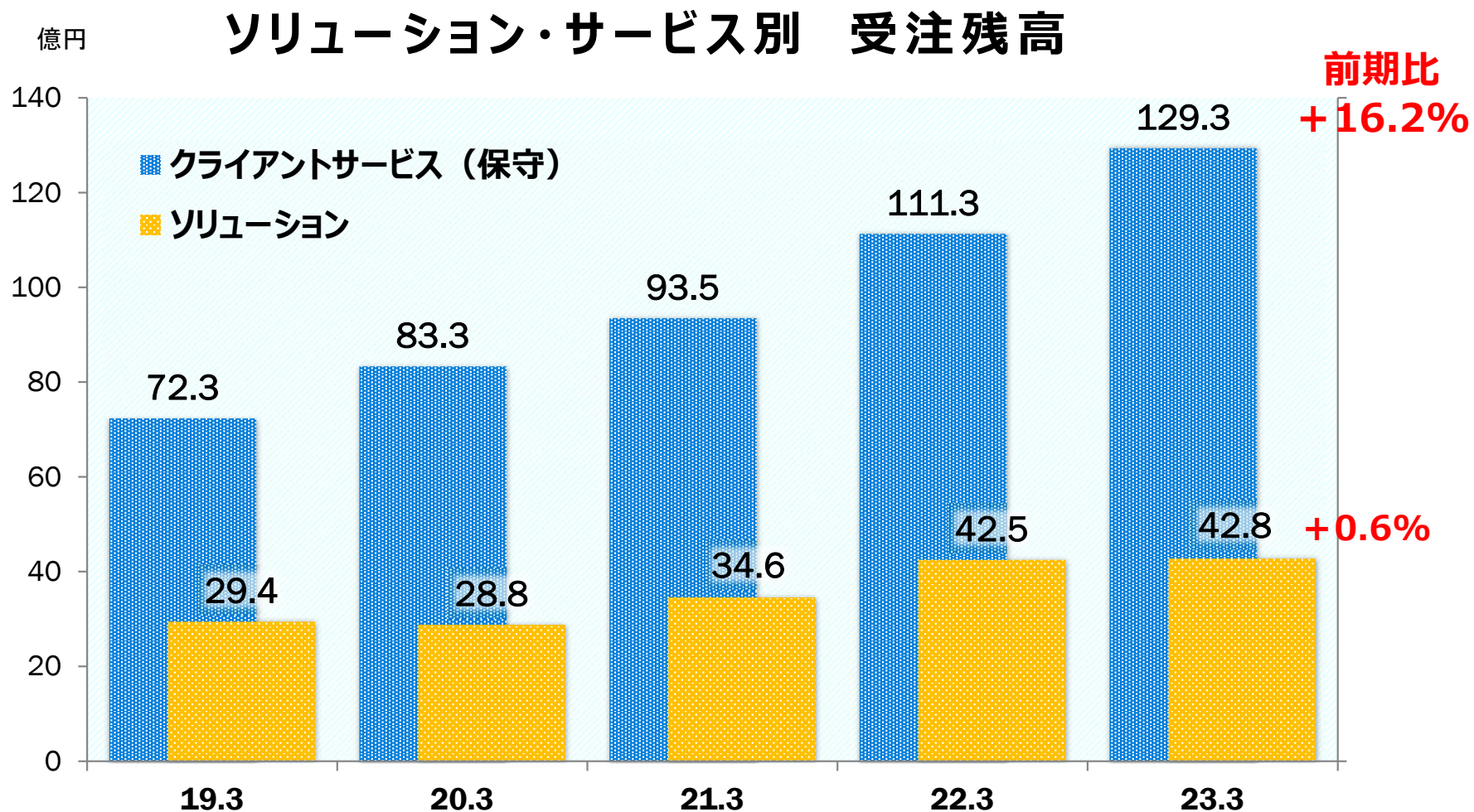


販売先上位顧客業種の推移（国内・クライアントサービス除く）

23年3月期	22年3月期	21年3月期	20年3月期
1 自動車	車載エレクトロニクス	総合電機	通信機器
2 電子部品	総合電機	通信機器	車載エレクトロニクス
3 事務用機器	自動車	電子部品	総合電機
4 車載エレクトロニクス	事務用機器	事務用機器	建設機械
5 検査機器	建設機械	コンシューマー	自動車
6 車載エレクトロニクス	産業用機器	車載エレクトロニクス	電子部品
7 自動車	事務用機器	コンシューマー	事務用機器
8 電子部品	コンシューマー	コンシューマー	自動車
9 自動車	建設機械	自動車	自動車
10 建設機械	コンシューマー	自動車	車載エレクトロニクス

23年3月期は後半クルマ・車載関連の販売が増加

受注残高の推移



受注残高の水準は過去最高を更新

製品分野別の販売状況 製品区分と主な製品について

短信等での製品区分

主な製品

<p>基板設計ソリューション</p>	<p>デザインオートメーション</p>	<p>CR-8000 Design Force CR-8000 DFM Center</p>
<p>回路設計ソリューション</p>	<p>プリント基板</p>	<p>CR-8000 Design Gateway</p>
	<p>ワイヤハーネス</p>	<p>E3.series/E3.infinite Cabling Designerシリーズ</p>
	<p>データマネジメント</p>	<p>DS-2 シリーズ GENESYS FortiGate PreSight/visual BOM</p>
<p>クライアントサービス*</p>	<p>上記各ソリューション振分け</p>	

*クライアントサービス：ライセンスの保守・アップデート（更新）のリカーリング収益

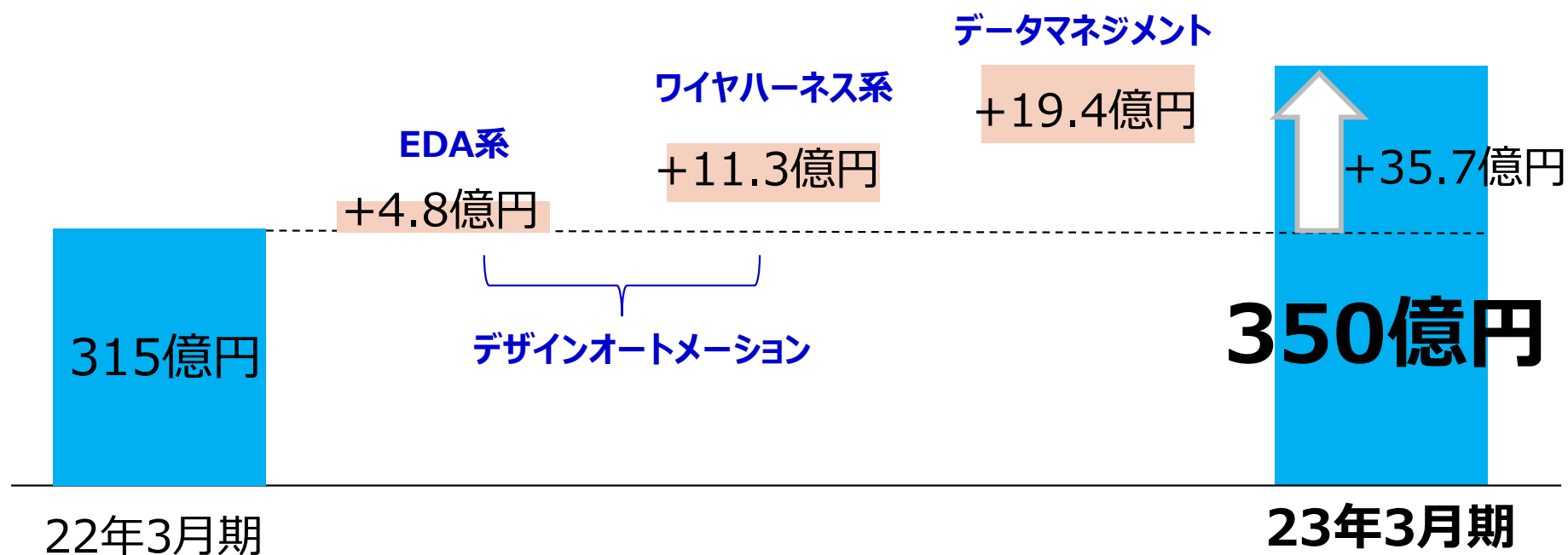
製品分野別 販売実績と前年対比

製品分野 (百万円)	22.3	23.3	増減	前期比
デザイン・オートメーション	19,263	20,887	+1,624	+8.4%
(内、ワイヤハーネス設計)	(5,893)	(7,032)	+1,138	19.3%
データマネジメント	12,239	14,186	+1,946	15.9%
売上高 計	31,502	35,073	+3,571	11.3%

【参考】 短信等で開示しているソリューション区分での販売実績

売上高 (百万円)	22.3	23.3	増減	
基板設計ソリューション	4,262	4,123	▲138	デザイン ・オートメーション
回路設計ソリューション	6,884	7,817	+932	
ITソリューション	7,198	8,290	+1,092	データマネジメント
クライアントサービス	13,156	14,841	+1,685	クライアントサービス は上2つに分類
計	31,502	35,073	+3,571	

製品分野別 販売実績



EDA（電子機器設計）

- 前期のプロジェクト再開需要とリモート環境用オプション販売増によりYoYは低水準
- 主要顧客のCR-8000移行は順調に継続

ワイヤハーネス設計

- 自動車関連、半導体・電子部品産業などを中心にサプライチェーン改革、製造スマート化投資が好調
- 国内では、新製品E3.inifiteの自動車OEM向けの受注がスタート

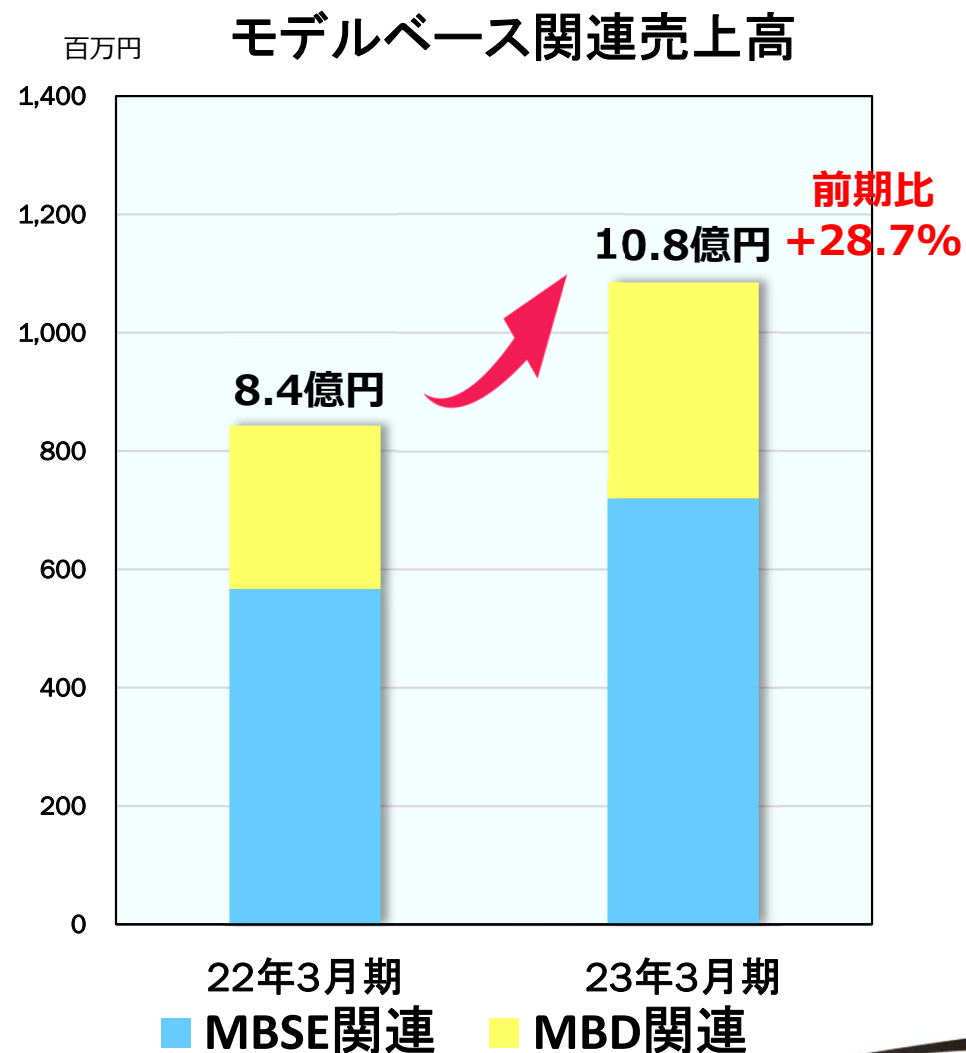
データマネジメント

- セキュリティ関連ソリューション（関係会社取扱）、WH向けが好調
- 製造業DX需要の一環として開発環境向けIT投資も堅調に推移（MBSE関連含む）

【重点分野①】 モデルベース関連の販売動向

概況

- 国内MBSE関連ビジネスは順調に拡大（業種、領域）
- エレクトロニクス設計要求管理を、既存CR製品導入顧客に拡販（GENESYS-CR）
- 業種・適用領域で提案内容のバリエーションが増加
→ 今後、要件・目的・顧客の習熟度に合わせた製品・サービス展開なども検討

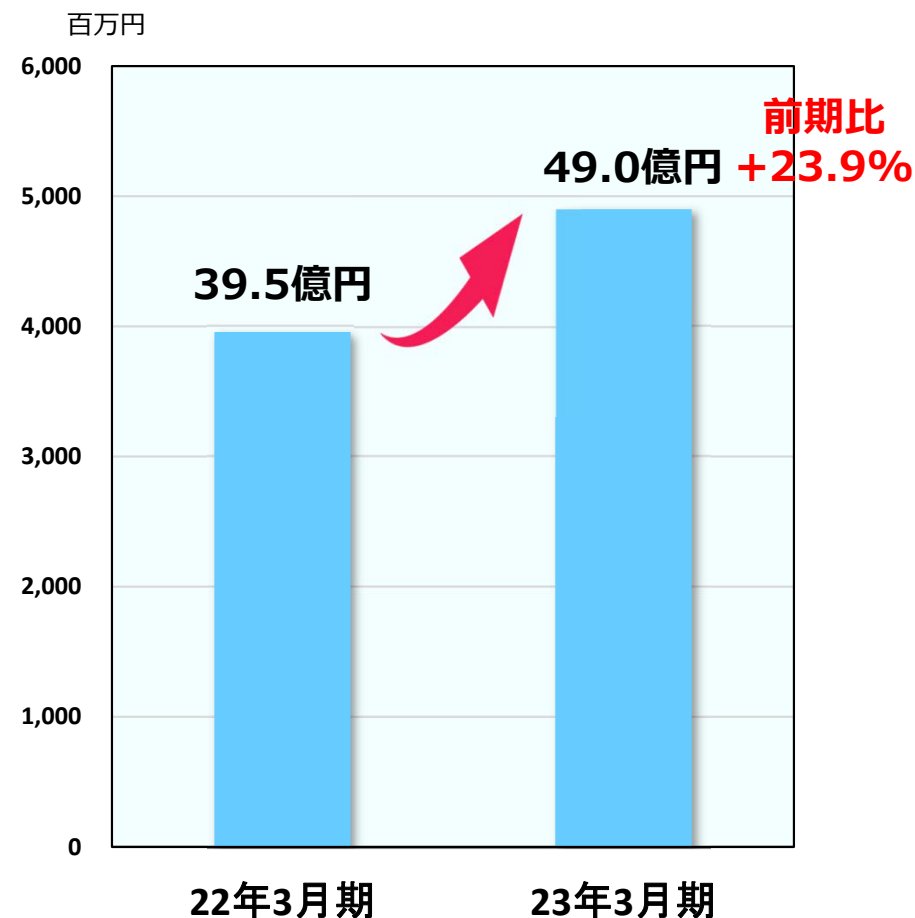


【重点分野②】 課題解決型コンサルティングビジネスの販売動向

概況

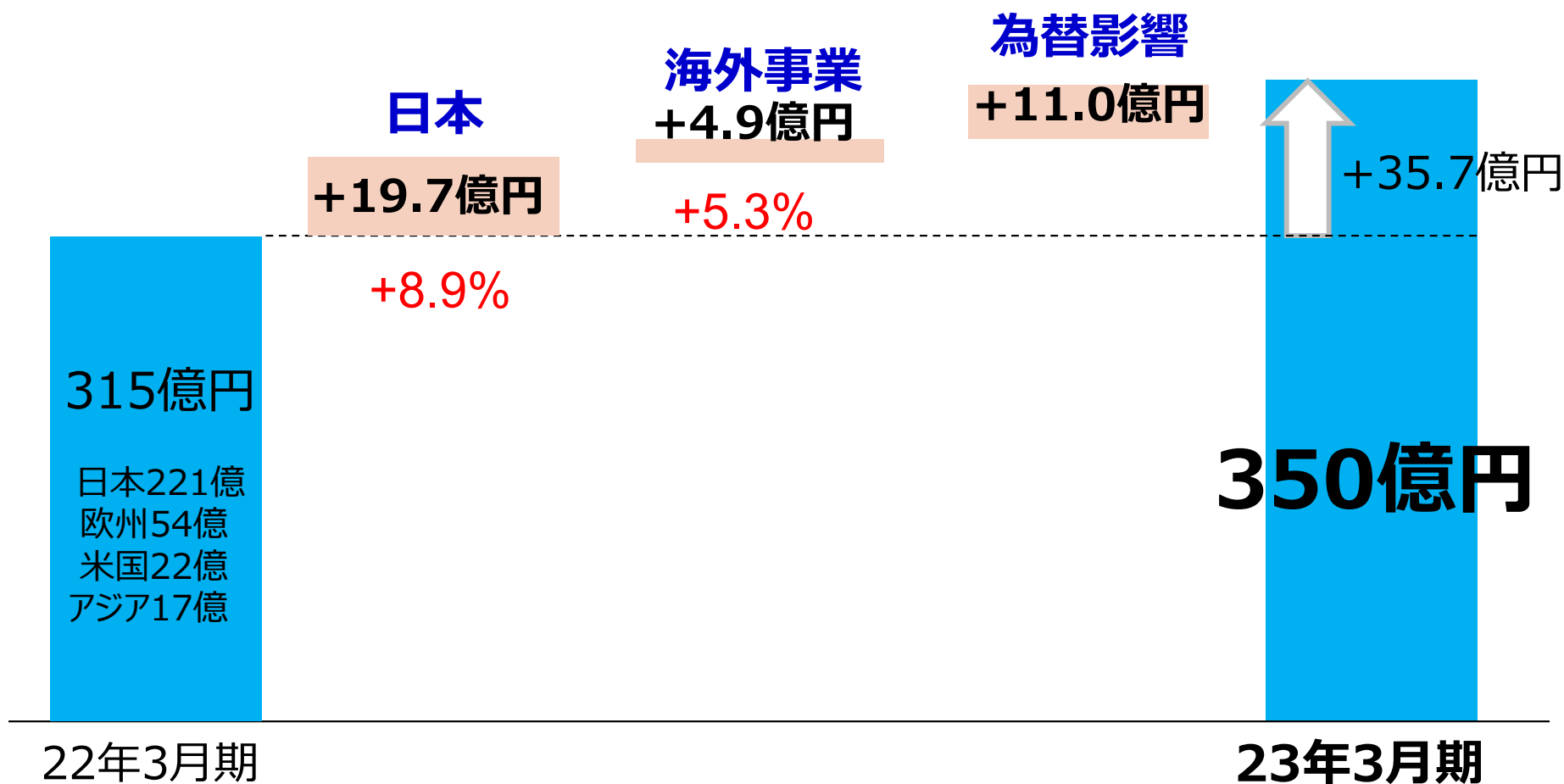
- 国内は、業種問わずDX投資が堅調。基幹システム（ERP）導入、更新などをトリガーにした設計製造部門のIT投資が活発
プロセス効率化を目的に、大手だけでなく中堅企業でもPDM導入が増加
- サプライチェーン改革、製造のスマート化需要により、生産設備系企業が好況、ワイヤハーネス設計用データマネジメントへの投資が増加（欧州、国内）

PDMビジネス売上高



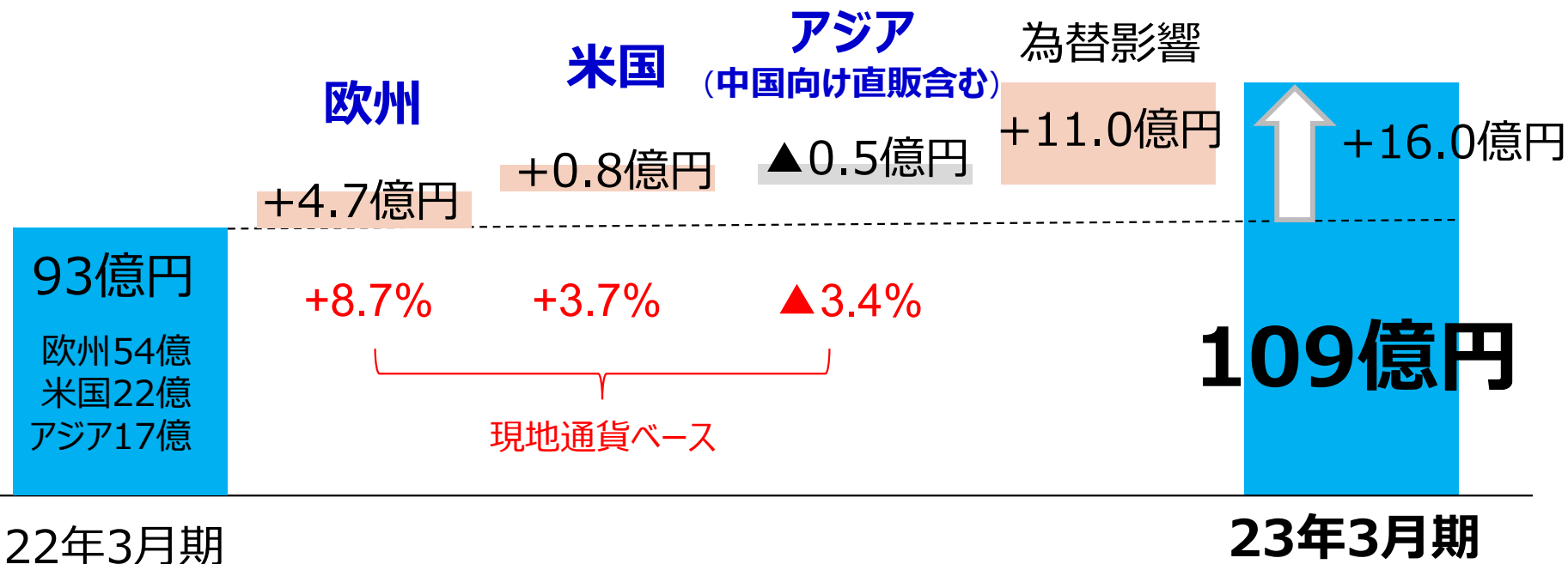
地域別販売状況

22.3期累計期間の平均為替レート 1USDドル=112円 1ユーロ=131円
23.3期累計期間の平均為替レート 1USDドル=135円 1ユーロ=141円



海外地域別 販売状況

22.3期累計期間の平均為替レート 1USD=112円 1ユーロ=131円
 23.3期累計期間の平均為替レート 1USD=135円 1ユーロ=141円



22年3月期

23年3月期

欧州

- E3.seriesの主要顧客である産業機械メーカーの業績好調により、設計自動化・効率化需要が継続
- 既存顧客に対するデータ管理の販売も増加

米国

- TBL案件中心であり収益は安定 航空機メーカー向けの商談も回復
- 国内製造設備投資増加にともない製造装置メーカー向けも増加傾向

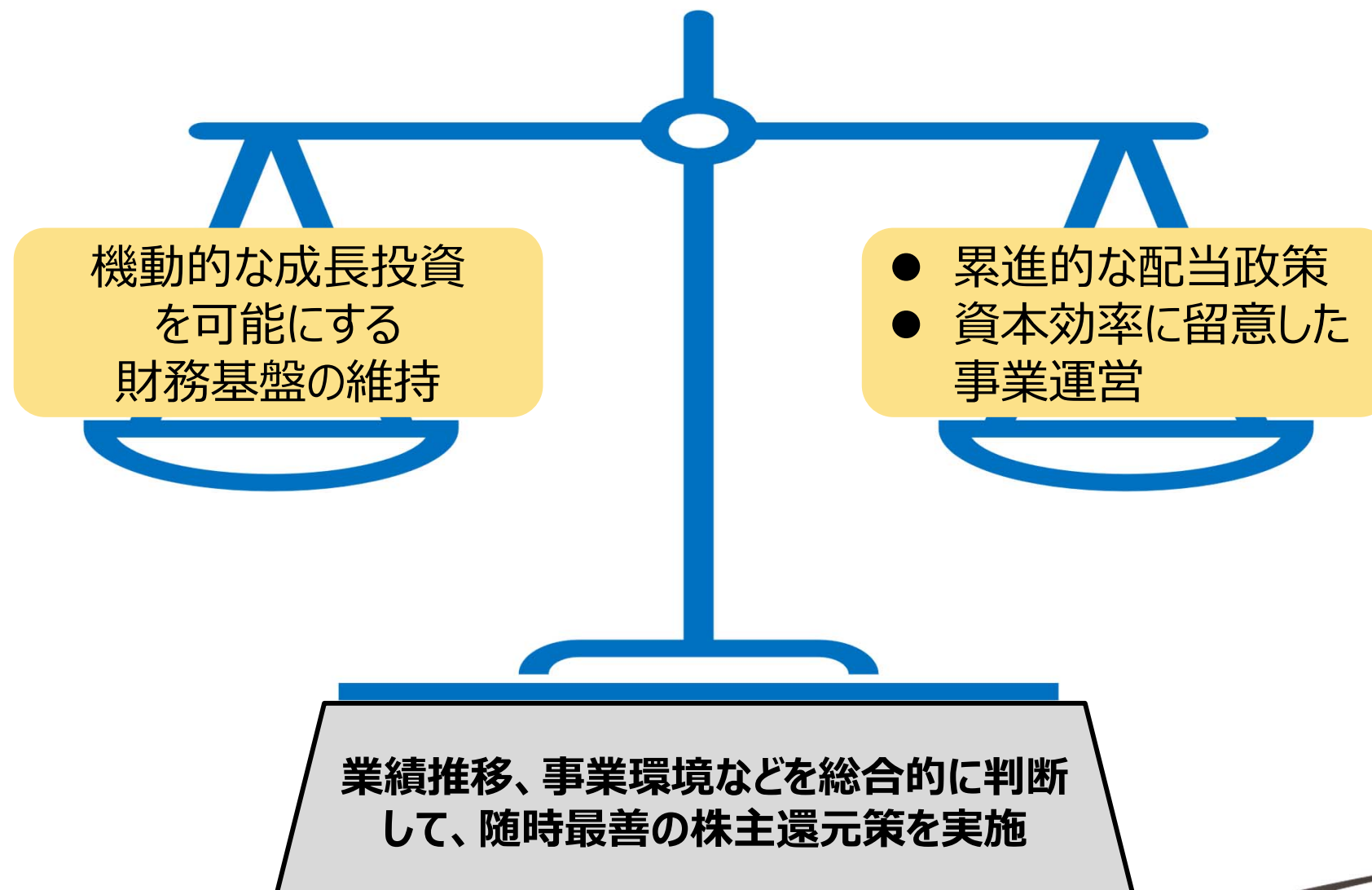
アジア

- コンシューマー系が多いアジア顧客は回復が遅れていたが、中国・韓国などを中心に経済活動回復の兆しあり
- 自動車 (EV) 関連投資は上向き見込

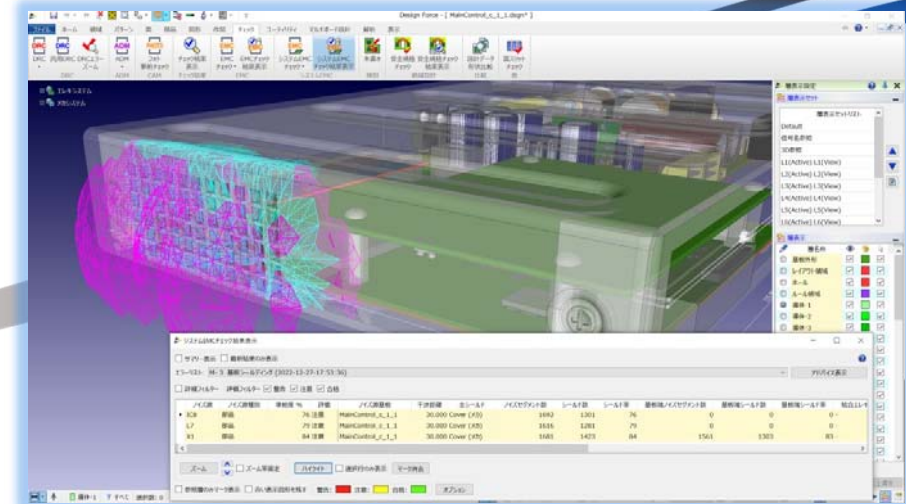
事業分野の今後の見通しについて

- 中長期の設計・製造プロセス改革を目的として、商談は大型化の傾向→データマネジメントソリューションが含まれる案件増加
- 自動車OEM向けワイヤハーネス設計用新製品「E3.infinite」の販売が進展
→EV化、（水平）分業化、プラットフォーム開発化などの技術動向を的確に捉え、受注活動強化
- 産業機械向けワイヤハーネス設計では、北米にてnVent HOFFMAN経由の受注開始
- MBSE：導入メリットへの認知が進む
「GENESYS」のさらなる製品力強化のための開発投資継続

資本政策と利益還元の基本方針



図研について 【ご参考】



業界初のエレキとメカを融合したEMC検証ツール「3D EMC Adviser」を販売開始
(2023年5月)

図研について



株式会社 図研 (ZUKEN Inc.)

設立： 1976年（昭和51年）12月17日

資本金： 101億1,706万5千円

従業員： 単体437人 連結1,538人
(2023年3月末現在)

東証プライム市場上場 (証券コード6947)

- **世界市場でシェアを持つ**
日本のエンジニアリング ソフトウェア・ベンダー
- **EDA業界で40年以上の歴史**
(健全な財務基盤を維持)
- **自社開発に加え、提携、M&A等で機動的に技術を獲得**

沿革

1976.12	(株) 図形処理技術研究所として設立	2009.06	PLMソリューションの新製品「PreSight」を発表
1978.06	国産初のプリント基板設計用CAD/CAMシステム「クリエイト2000」を開発	2010.05	ラティス・テクノロジー (株) と資本提携、トヨタ自動車 (株) に次ぐ第二位の株主に
1983.11	米国にZuken America Inc. (現・Zuken USA Inc.) を設立	2011.06	BOMと超軽量三次元フォーマットXVLを統合した「visual BOM」を発表
1988.01	CADの新システム「CR-3000」を開発	2011.10	次世代電子機器設計システム「CR-8000」を世界同時発表
1991.10	EDA企業として初めて株式を東証2部に上場	2014.12	東洋ビジネスエンジニアリング (株) (現・ビジネスエンジニアリング (株)) と資本業務提携
1992.01	ドイツにZuken Europe GmbH (現・Zuken GmbH) を設立	2015.03	インドにZuken India Private Limitedを設立
1992.01	韓国ソウル市にZuken Korea Inc.を設立	2015.07	(株) ワイ・ディ・シーの「CADVANCE事業」(電気系CAD・PDM関連事業)を継承
1992.08	シンガポールにZuken Singapore Pte. Ltd.を設立	2016.04	プリサイト事業部を分社化し、(株) 図研プリサイトとして発足
1994.04	EDA垂直統合ソリューション「CR-5000」を開発	2017.12	アルファテック (株) (現・図研アルファテック (株)) の全株式を取得
1994.06	レーカル・リダックグループ (11社) (英) の全株式を取得	2019.08	Vitech Corporation (米) (現・Zuken Vitech Inc.) の全株式を取得
1994.09	東証1部へ指定替え	2019.10	図研モデリンクス (株) を設立
2000.03	インケイシス社 (独) の全株式を取得	2021.11	ビジネスエンジニアリング (株) の株式を追加取得し、持分法適用関連会社化
2002.03	自動車用ワイヤハーネス設計環境の提供開始	2022.04	東証の市場区分の見直しにより、市場第1部からプライム市場に移行
2002.06	中国上海市に上海テクニカルセンターを設立		
2004.02	E&E業界に特化したPLMソリューション「ePLMプラットフォームDS-2」発表		
2005.08	台湾にZuken Taiwan Inc.を設立		
2006.05	CIM-TEAM社 (独) の全株式を取得		
2007.06	CATIAV5をベースとした「V54EE」を発売		

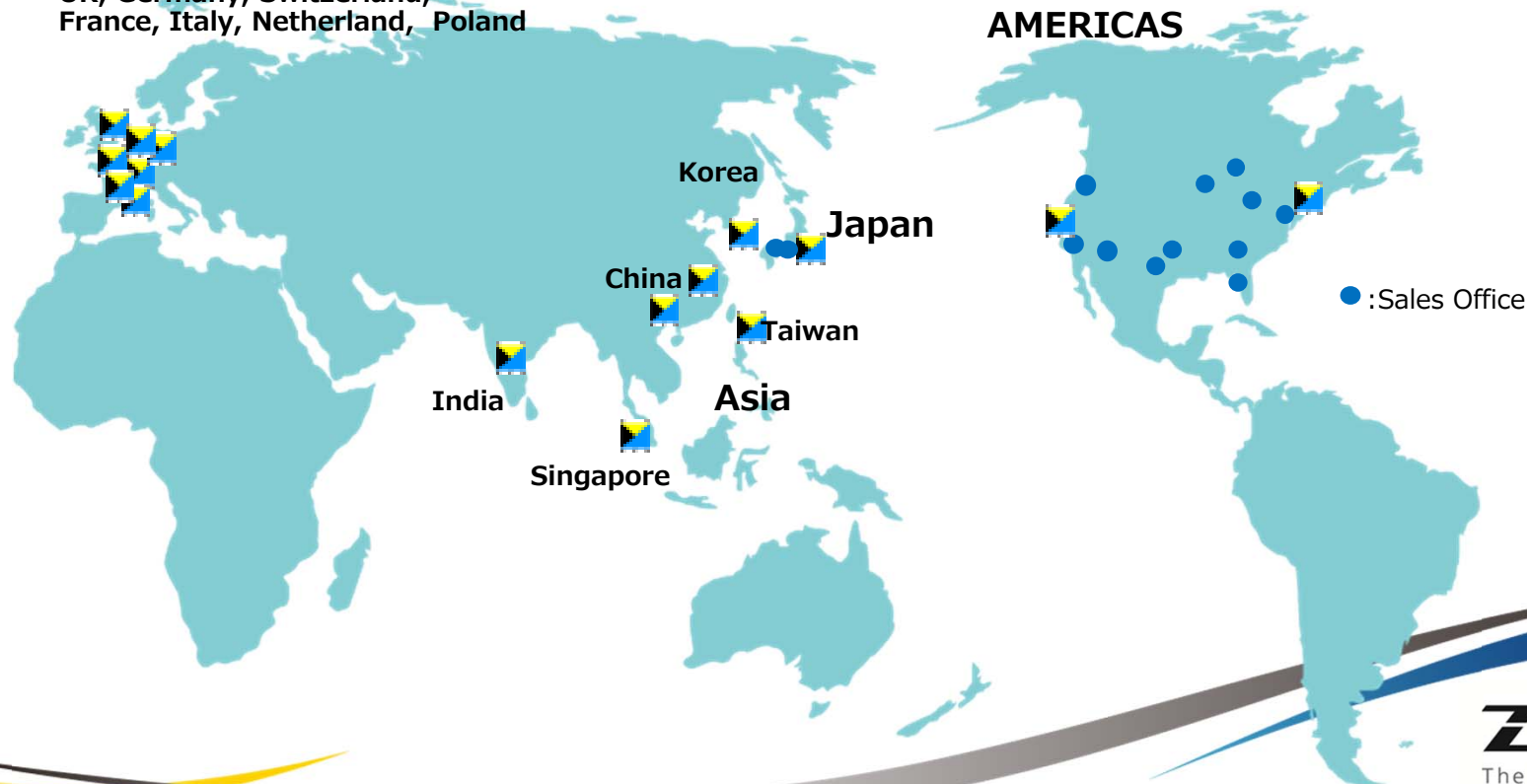
拠点および国内関連会社

本社・中央研究所	横浜市都筑区
国内拠点	横浜、大阪、名古屋
海外拠点	事業拠点 21か所 うち研究開発拠点 6か所
国内関連会社	7社 (図研テック・図研ネットウェイブ・図研エルミック・図研プリサイト・ 図研アルファテック・図研モデリンクス・ビジネスエンジニアリング)

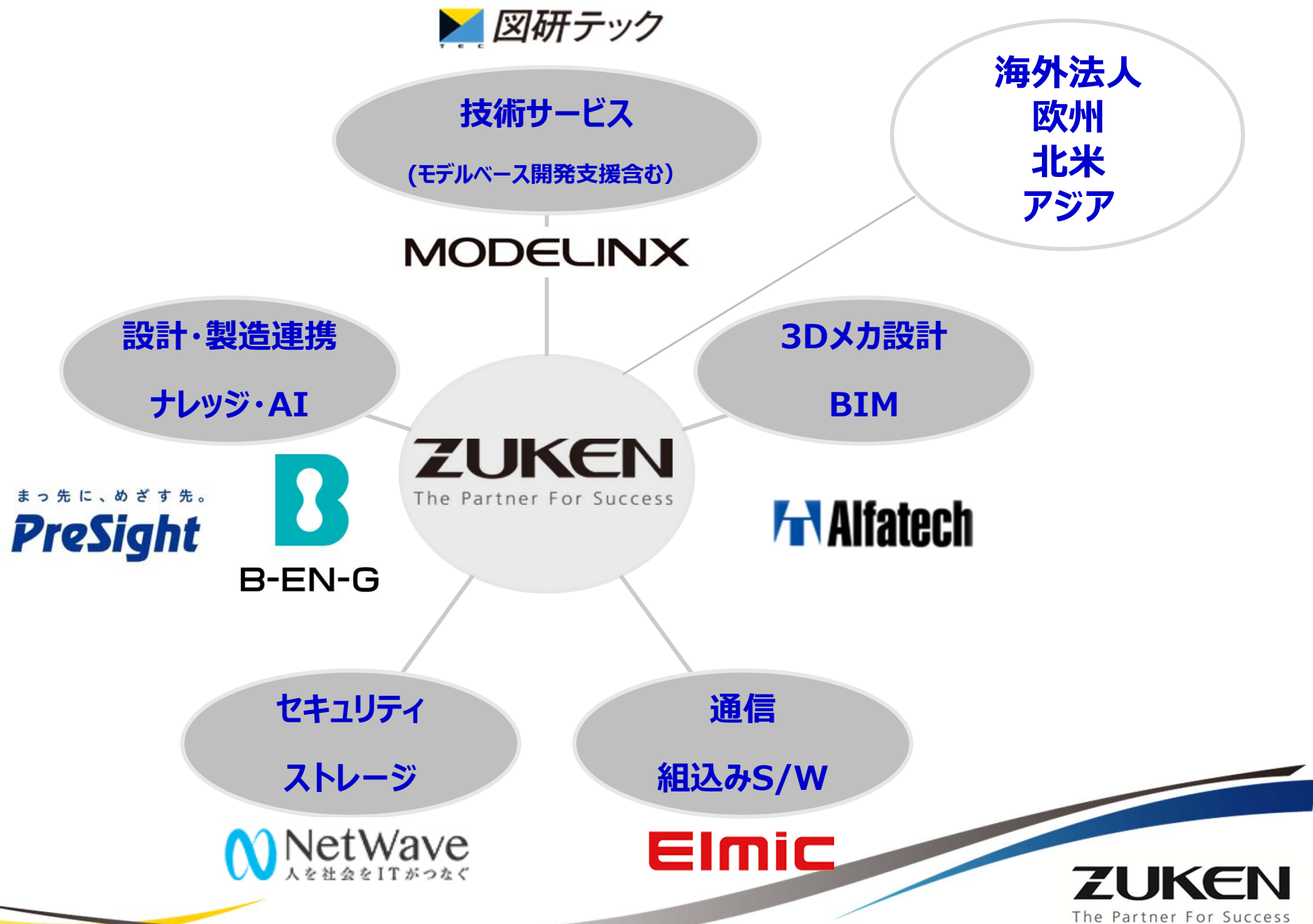
EUROPE

UK, Germany, Switzerland,
France, Italy, Netherland, Poland

AMERICAS



図研グループ



< 注意事項 >

本資料に記載されている情報には、将来の業績等に関する見通しが含まれています。これらの見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づいて当社グループにより判断されたものであり、様々な潜在的なリスクや不確定要素を含んでおります。したがって、実際の業績等はこれらの影響を受けるものであり、記載された見通しと大きく異なる結果となることがあることをご承知おきください。実際の業績等に影響を与えうるリスク・要素には、各国の経済情勢、顧客企業の設備投資の動向、市場の需要動向、製品の開発状況、他社との競合、為替レートの変動等がありますが、これらに限定されるものではありません。

なお、本資料に含まれる経営目標は、予測や将来の業績に関する現在の推定を表すものではなく、当社グループが事業戦略を遂行することにより達成しようと努める目標を表すものがあります。



お問い合わせ先

株式会社 図 研

コーポレートマーケティング室

横浜市都筑区荏田東2-25-1

電話 045-942-1511 (代表)